

# 平成29年度 浜松情報専門学校 学校自己評価・学校関係者評価 評価報告書

## 1. 教育理念・教育目標

〈教育理念〉

社会で自立するために必要な人間力と高い専門技術を有する人材を育成し、地域社会に貢献する。

〈教育目標〉

本校は、教育基本法に則り、学校教育法に従い、産業の発展に対応する情報処理及び関連する技術と、商業分野における実務教育及び関連する部門の技術を教育するとともに教育に関する学科、一般教養に関する学科も授けて、知性高く教養の高い近代的中堅技術者を養成し、地域の振興に寄与することを目的とする。

## 2. 本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画

- ①入学定員210名以上の入学生を確保
- ②各科の教育理念を定める
- ③職業実践専門課程申請（ゲームクリエイト科）への取り組み
- ④マナー教育の徹底
- ⑤就職内定率95%以上（専門職率80%以上）
- ⑥退学率を5%以内に抑える

## 3. 評価項目の達成及び取組状況

評価方法： 4（適切）→ 3（ほぼ適切）→ 2（やや不適切）→ 1（不適切）

### （1）教育理念・目標

評価欄

1-1	教育理念並びに教育目標が明確に示されているか	4
1-2	学校における職業教育の特色は何か	4
1-3	社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	4
1-4	理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが生徒・保護者等に周知されているか	3
1-5	各学科の教育目標、育成人材像は、業界のニーズに向けて方向づけられているか	4
学校自己評価 平均		3.8

### 成果と課題

教育理念並びに教育目標は学生便覧に記載しており、入学時に説明している。教育目標は社会ニーズに応じて毎年見直しを行っている。本校では様々な産業種と係わる学科を運営していることから、実務者および実務経験者などからの意見を伺い反映する仕組みを導入している。専門学校としての事業継続性を高めるため、各分野における環境変化・業界動向などを据えた将来計画を、第3期中期計画（H29.4～H34.3）として実行中である。

### 今後の改善方策

より開かれた学校目指して、活動を重ねていく。

### 学校関係者 評価コメント

- ・1-4については2年制である専門学校において、将来構想への関心度は低いと考えられるため現在の対応で適切と感じた。

・コンピュータの活用は日々進化している。業界のニーズについて常にリサーチし、求められる人材にあった学科編成が求められる。学科名称についても柔軟に変えたほうが良いと感じる。

学校関係者評価平均 3.8

## (2) 教育活動

2-1	シラバスが作成され学生に配布されているか	4
2-2	教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた教育機関としての修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	4
2-3	学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	4
2-4	キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか。	4
2-5	関連分野における実践的な職業教育（産学連携によるインターンシップ、実技・実習等）が体系的に位置づけられているか	3
2-6	授業評価の実施・評価体制はあるか	3
2-7	成績評価・単位認定の基準は明確になっているか	4
2-8	資格取得の指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	4
2-9	人材育成目標に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	3
2-10	関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか	3
2-11	関連分野の企業・関係施設等、業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	3
2-12	目標に到達しない学生に対し適切なフォローがなされているか	3
学校自己評価 平均		3.5

### 成果と課題

①②③④⑦⑧カリキュラムは体系的に編成されており、実践的な職業教育も取り込んでいる。授業の実施と評価についても年度開始時に整備されており、説明資料として学生便覧（シラバス、教育課程表、成績評価基準、資格取得体制）を編綴し、学生に配布・説明をしている。専門学校に対する認知の多くを資格取得が占めていることもあり、カリキュラム内において各学科ともに整備している。

⑨⑩教育人材の確保は喫緊の課題である。各学科とも専門性の高い領域であるため、採用においてもマッチする人材がないのは業界側の採用と同じである。このため専任教員の資質向上は当然の対策であり、学外研修などを含め教育の質を向上することを教務体制として指示・指導している。

⑤産学連携は、一部の学科で実施している（学内の実技・実習は可能でも、産業界に受け入れの器がなく産学連携が不可能なケースが存在する）。特にIT系では未開・未踏領域が多く、産業界と連携できない場合がある。

⑥授業評価の仕組みを再構築し、実施した。

⑪カリキュラム見直しは、関連産業・企業からの意見を聴取する仕組みを基本としている（職業実践専門課程申請の要件）が、一部の学科では未導入である。

⑫目標に到達しない学生に対するフォローは補習等により対応しているが、学生側の当該職業種への意欲が無い場合には、補習も成立しないため万全な体制とはいえない。

### 今後の改善方策

- ・教育目標（カリキュラム）の見直しは今後も継続して行うが、企業様から聴取した意見も積極的に取り組む。
- ・専門学校は研究より実務者教育が主体である。新規分野のカリキュラム導入判断は、質の保証が担保できる様に十分な検討を重ねていく。
- ・授業評価については、フィードバックの仕方や公開方法と範囲の検討を実施する。アンケート対象者が変わっても、定点観察可能な仕組みの構築を検討していく。

### 学校関係者 評価コメント

- ・系列校の間でのカリキュラム差があることを聞いた。学校の特色ととるか水準がバラバラとなっているかは、客観的に分析する余地がある。
- ・2-12 学生個人の意欲の問題もあり、学校としてフォロー可能な範囲に限界があると思う。現状の対応で適切と感じる。
- ・実践的な職業教育は、必ずしも産学連携でなくても実施できる道を検討する価値はある。
- ・2-12 目標未到達の理由が個々に示されていないように感じる。
- ・大学が理論・思想を中心に学習する場に対して、専門学校はその分野の技術を習得する場。専門技術者になることを常に強化すべきと考える。
- ・企業や社会が期待する総合的な人間力は常に変化する。こうした教育には常に人材の不足があると思う。
- ・2-12 決められた授業時間のなかで解決するのは困難に思う。

学校関係者評価平均

3.48

### (3) 教育成果

3-1	就職率の向上が図られているか	4
3-2	資格取得率の向上が図られているか	4
3-3	退学率の低減が図られているか	2
3-4	卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	3
学校自己評価 平均		3.3

### 成果と課題

- ①就職支援の仕組みを安定運営し、100%の就職内定率を達成した。(本年内定率100%、前年99.2%)
- ②資格取得では、資格試験の実施と検証のサイクルを一部試験において実施しており、資格検定試験特別授業(資格対策授業)を通して、前年実績以上の成果が得られている。
- ③目標退学者率5%以内に対し6.49%(昨年度目標退学者率5%、実績10.0%)となった。退学者の1/2は留学生であり、素行不良と学習放棄(就労目的者など含む)がほとんどであった。留学生を除いた退学者率は2.95%であり、留学生の動向が大きく影響している状況ではあるが、対応範囲を超えており憂慮している。
- ④同窓会が継続的に運営されており、卒業生の社会的な活躍についても同窓会より情報提供を受けることも多い。今後も同窓会運営については学校としても協力を続ける。在校生についてはビジネスライセンス科のSOHOしずおかビジネスプランコンテストやコンピュータ科のNTTdocomoNCF2017参加、ゲームクリエイト科のゲームコンペティション参加、こども保育科の近隣幼稚園・保育園への夏祭り、クリスマス会ボランティア参加など、前年同様に様々な面で社会活動への参加を行うことができた。

### 今後の改善方策

- ・PDCAにより向上した資格取得率を高水準で維持する。
- ・同窓会との協力により卒業生の活躍を把握し、学校と卒業生のネットワークを深化させていきたい。特に卒業生向けサービスとして、研修・講座の開設を同窓会とともに今後検討していきたい。

**学校関係者 評価コメント**

- ・退学率低減の一部ケースについては、学校としての対応範囲を超えていると判断できる。
- ・退学率については目標数値を達成してはいないが、対応範囲を超えていると思うため適切と感じる。
- ・在校生の社会的活動を、学んでいる知識と関連付けられるとよいと考える。
- ・就職後の卒業生の活躍を更にフォローする必要がある。

**学校関係者評価平均** 3.1

**(4) 学生支援**

4-1	進路・就職に関する支援体制は整備されているか	4
4-2	学生相談に関する体制は整備されているか	4
4-3	学生の経済的側面に対する支援体制は整備されているか	4
4-4	学生の健康管理を担う組織体制はあるか	4
4-5	保護者と適切に連携しているか	4
4-6	卒業生への支援体制はあるか	3
4-7	高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	4
<b>学校自己評価 平均</b>		<b>3.8</b>

**成果と課題**

①在校生就職等支援は専任スタッフを配置し、就職ゼミ体制も運用している。求人情報は学内ネットワークから自分のパソコンで参照することもできる。②学生相談はクラス担任や専任カウンセラーによるカウンセリングを希望制により実施している。③経済面における支援体制では学生支援機構の奨学金制度と、本学校法人独自の学費サポートプランが利用できる。④法令に基づいた健康管理体制を構築している。⑤保護者との接触機会は定例として後援会総会、就職説明会がある。学生指導として出欠席指導、成績不良者に対する保護者連絡等は常に実施しており、学生の変化を状況に応じて共有する体制をとっている。⑥卒業生への再就職支援体制を整備し運営を開始している。⑦高校側からの依頼によるキャリア教育・職業教育を各種職業分野において実施している。

**今後の改善方策**

今後も継続して就活ゼミ制度を実施し、就職活動をサポートする。また保護者との連携を強化するための情報配信を検討する。

**学校関係者 評価コメント**

なし

**学校関係者評価平均** 3.68

## (5) 教育環境

5-1	講義室、実習室の管理は適切に行われているか	4
5-2	実習室及び講義室は学生の自習室として開放しているか。	3
5-3	教育用機器備品は整備されており活用されているか	4
5-4	施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されている	3
5-5	防災に対する体制は整備されているか	3
<b>学校自己評価 平均</b>		<b>3.4</b>
<b>成果と課題</b>		
<p>①講義室、実習室は管理担当者（教員）を割り当てている。②実習室にはパソコンなど高額資産が設置されているため、自習室としての全面開放はせず、担当教員の許可・監視の下で利用している。③教育用機器備品は、授業利用計画に従い整備している。④3校併設の現状により施設・設備を配置する場所、自主学習をするための場所は慢性的に不足している。⑤現在、防災に対する体制整備はされている。特に地震時には「建物内に待機」することを消防署よりの指摘として受けており、避難計画についても火災と地震で対応を分けている。</p>		
<b>今後の改善方策</b>		
平成31年に日本語学院が移転するため、慢性的な施設・設備の不足を解消する予定である。		
<b>学校関係者 評価コメント</b>		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・教室のプロジェクタは大画面のものがよい。</li> <li>・各学科の機材で、有効活用されていないものがあるのではないかな。</li> </ul>		
<b>学校関係者評価平均</b>		<b>3.4</b>

## (6) 学生の募集と受け入れ

6-1	入学案内には志願者が必要とする情報が掲載されているか	4
6-2	募集要項の内容は適切か	4
6-3	学生募集活動は、適正に行われているか	4
6-4	学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	4
6-5	学納金は妥当なものとなっているか	4
<b>学校自己評価 平均</b>		<b>4</b>
<b>成果と課題</b>		
<p>①②入学案内・募集要項については、虚偽のない正確な情報掲載に常に努めている。③募集活動は、一般常識に照らして適正である。迷惑行為とならない様、常に配慮し学校としての社会的な信頼を損なう行為はしていない。④各分野に進路選択を検討している入学対象者および保護者・関係者が、必要とされる情報の掲載に努めている。学生の実績、就職状況についても、最新情報を提供するよう努めている。⑤学納金については過剰、過少とならないように努めている。当然のことながら効率的な経営を日々努力している。</p>		
<b>今後の改善方策</b>		
今後も継続して紳士的な募集活動を行っていく。学納金については、教育の質の維持・向上、施設整備、消費税率など内外の要因を見極め、内部の効率的運営に努めながら適切に判断していく。		
<b>学校関係者 評価コメント</b>		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・学科の志望理由が明確に答えられない学生がいる。専門学校として即戦力を育成するには、募集時に目標を明確にさせることが必要だと思う。</li> </ul>		
<b>学校関係者評価平均</b>		<b>3.98</b>

## (7) 教職員組織、学校運営・管理、財務、法令等の遵守

7-1	教職員の能力、業務内容の評価を定期的実施しているか	4
7-2	組織間、各部署間の連携は適切に図られているか	4
7-3	非常時の危機対策管理に対する周知は徹底されているか	4
7-4	消防計画、学校安全計画は適切に整備し、防災訓練等は実施されているか	4
7-5	目的等に沿った運営方針が策定されているか	4
7-6	事業計画に沿った運営方針が策定されているか	4
7-7	運営組織や意志決定機能は、規則等で明確化されているか、有効に機能しているか	4
7-8	人事、給与に関する制度は整備されているか	4
7-9	教務・財務等の組織整備など意識決定システムは整備されているか	4
7-10	教育活動に関する情報公開が適切になされているか	4
7-11	情報システム化等による業務の効率化が図られているか	4
7-12	中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	4
7-13	予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	4
7-14	財務について会計監査が適正に行われているか	4
7-15	財務情報公開の体制整備はできているか	4
7-16	法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	4
7-17	個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	4
7-18	自己評価の実施と問題点の改善に努めているか	4
7-19	自己評価結果を公開しているか	4
7-20	ハラスメントに対する防止対応策が整備されているか	4
<b>学校自己評価 平均</b>		<b>4</b>

### 成果と課題

①法人内人事評価制度に従い実施している。②教務・総務・広報部門間が連携して業務上の様々な問題解決に取り組んでいる。③④非常時における危機管理対策については、法人全体での対応が周知されており、学校毎の消防等安全に対する対応は常に行っている。⑤⑥⑨学校としての目的、事業計画に沿った運営方針は毎年策定され、学校組織の体制も常に見直しを行っている。⑦⑧就業規則を含む諸規程は整備されており、一部抜粋が規程集として全職員に配布され、また全ての規程集については電子化されており、教職員がパソコンの画面で自由に閲覧できるよう整備されている。⑩情報システムを用いた業務の効率化はすでに実施している。

⑩⑨教育活動に関する情報公開はホームページやパンフレット等により最新情報を提供している。本評価についても公開している。⑫⑬⑭⑮予算主義を基本とした運営に努めており、財務情報公開、会計監査など経営上必要となる法令は遵守している。⑯常に適合するよう運営している。⑰個人情報の取り扱いについては教職員への教育・指導を行っており、現時点で問題となる事例は発生していない。⑳ハラスメント防止のための委員会を設けている。

### 今後の改善方策

「教育の質」を向上させつつ、効率的な経営に努める。法令順守を徹底し保護者の皆様からの信頼維持に努める。

### 学校関係者 評価コメント

なし

**学校関係者評価平均**

**4**

## (8) 社会貢献・地域貢献、国際交流

8-1	学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	4
8-2	留学生の受入れ・派遣等において適切な手続き等がとられているか	4
8-3	留学生の受入れに対して、学内での適切な体制が整備されているか	4
<b>学校自己評価 平均</b>		<b>4</b>
<b>成果と課題</b> 浜松科学館の小学生向け講習会や、商業高校対抗のワープロ競技会、農業高校対抗の情報処理競技会、中学校/高等学校などからの職業体験授業実施等、各種専門分野においての受け入れ/施設活用を多数行っている。 留学生に対しての分掌担当者を取り決め、各種法令に従った適切な受け入れ手続きを行っている。また提携不動産会社と連携したアパート斡旋・管理やアルバイト斡旋等も行っている。		
<b>今後の改善方策</b> <ul style="list-style-type: none"><li>・地域貢献につながる取り組みをさらに強化し、開かれた学校として施設利用の促進を行っていく。</li><li>・地域奉仕活動として、周辺清掃活動を実施する。</li><li>・留学生支援体制の安定運営に努めていく。</li></ul>		
<b>学校関係者 評価コメント</b> なし		
<b>学校関係者評価平均</b>		<b>4</b>